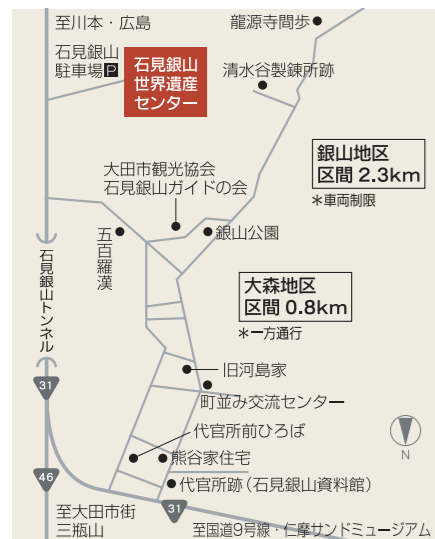


石見銀山の歴史略年表

時代	西暦	年号	主な出来事
鎌倉	1309年	延慶2年	初めて石見銀山が発見されたという(「銀山旧記」)
室町	1526年	大永6年	博多の商人・神屋寿禎(かみやじゅてい)、石見銀山を発見する(「銀山旧記」)
	1528年	享禄元年	大内義隆が矢滝城を築き、石見銀山を支配下におく(「銀山旧記」)
	1531年	享禄4年	川本を本拠とする小笠原氏が銀山領有(「銀山旧記」)
	1533年	天文2年	石見銀山で灰吹法(はいふきほう)による銀精錬がはじまり、以後国内の他鉱山に広まる。大内氏銀山を奪回(「銀山旧記」)
	1556~1562年	弘治2~永禄5年	毛利氏と尼子氏が互いに銀山の争奪戦を展開し、やがて毛利氏が支配する
	1568年	永禄11年	ポルトガル/ドロードの日本図に「銀鉱山王国」の記載がある
安土桃山	1585年	天正13年	豊臣秀吉が関白となる。このころから毛利氏と豊臣氏の共同管理となる
	1600年	慶長5年	関ヶ原の戦いの後、徳川氏が領有
	1601年	慶長6年	大久保長安、初代奉行となる
	1602年	慶長7年	年産4千貫=15トンの銀を産出する
江戸	1603年	慶長8年	安原備中、年3600貫=13.5トンの運上を納め、家康に謁見(「銀山旧記」)
	1624年	寛永元年	銀山全体の銀産出量が減少し始める(年間2200貫=8.2トンを含めた)
	1673~1682年	延宝元~天和2年	銀産出量がさらに減少する(10年間の平均産出高261貫=980キロ)
	1675年	延宝3年	石見銀山領は代官統治へ格下げ
	1731年	享保16年	井戸平左衛門代官 着任
	1733年	享保18年	さつまいも植え付け奨励。井戸平左衛門 没
	1766年	明和3年	石窟五百羅漢が25年の歳月を経て完成し、羅漢寺が創建される
	1800年	寛政12年	大森大火により町の大半が焼失。翌年、熊谷家住宅が再建される
	1815年	文化12年	大森代官所門長屋再建
	明治	1869年	明治2年
1872年		明治5年	浜田沖地震により坑道崩落などの被害を受ける。五百羅漢の石窟も一部崩落する
1886年		明治19年	大阪・藤田組が「藤田組大森鉱山」を設立。翌年、経営開始
1895年		明治28年	清水谷製錬所完成
大正	1896年	明治29年	清水谷製錬所操業休止。以後、操業の中心は永久地区となり、銅生産が主力となる
	1917年	大正6年	第一次世界大戦に伴う需要増加のため増産。近代操業のピーク(銀4.2t、銅477t)
	1923年	大正12年	第一次世界大戦後の銅相場低下により経営不振となり、休山となる
昭和	1939年	昭和14年	前年制定された「重要鉱物増産法」により、藤田組株式会社が採鉱再開を目指す
	1942~1943年	昭和17~18年	銅採掘を試みるが大水害により設備流失、坑道水没などの被害を受け、経営再開を断念
	1956年	昭和31年	大森町が大田市に合併される
	1967年	昭和42年	「石見銀山遺跡」県指定史跡となる
	1969年	昭和44年	代官所跡、龍源寺間歩(りゅうげんじまづ)など14ヵ所国指定史跡となる
	1987年	昭和62年	大森、銀山の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
平成	1993年	平成5年	大田市による石銀(いしがね)地区発掘調査開始。採掘、精錬の跡や関連遺物が発見される
	1996年	平成8年	島根県・大田市共同の石銀地区調査が始まる
	2001年	平成13年	世界遺産暫定リストに登載(4月)
	2002年	平成14年	「銀山柵内(さくのうち)、山城跡、港湾」国史跡追加指定となる(3月)
	2004年	平成16年	大田市・温泉津町・仁摩町の景観保全条例が制定される(7月) 温泉津の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定(7月) 石見銀山遺跡関係鉱区禁止地域指定(1月)
	2005年	平成17年	「石見銀山街道(鞆ヶ浦道、温泉津沖泊道)、宮ノ前地区」国史跡追加指定となる(3月) 「銀山柵内、羅漢寺五百羅漢、鞆ヶ浦集落、沖泊集落」国史跡追加指定となる(7月) 大田市・温泉津町・仁摩町が合併し、新「大田市」となる(10月)
	2006年	平成18年	世界遺産登録推薦書をユネスコに正式に提出(1月) イコモス(国際記念物遺跡会議)による現地調査(10月)
	2007年	平成19年	イコモスの評価結果が示され、「登録延期」の勧告がなされる(5月) 世界遺産委員会において世界遺産に登録される(7月)



現地情報・ガイドのお問い合わせ

- ◆ **石見銀山世界遺産センター**
〒694-0305 島根県大田市大森町イ1597-3
TEL 0854-89-0183 FAX 0854-89-0089
<http://www.iwamigin.jp/ohda/minasdeplata/ginzan>
- ◆ **大田市観光協会**
〒694-0305 島根県大田市大森町イ826
TEL 0854-89-9090 FAX 0854-89-9089
<http://www.visit-ohda.jp/>
- ◆ **石見銀山ガイドの会**
〒694-0305 島根県大田市大森町イ826
TEL 0854-89-0120 FAX:0854-89-0706
<http://iwamiginzan-guide.jp/>

表紙地図ドロード/日本図(1568年)
(松本賢一「南蛮紅毛日本地図集成」鹿島出版会より転載)

- 編集・発行 (平成20年4月)
- ◆ 島根県教育庁文化財課世界遺産室
〒690-8502 松江市殿町1番地
TEL 0852-22-5642 FAX 0852-22-5794
http://www.pref.shimane.lg.jp/sekaisan/iwami_ginzan/



石見銀山 WORLD HERITAGE

このマークは、世界遺産である石見銀山遺跡を構成する間歩や山、海などの資源をモチーフにし、公式マークとして石見銀山協働会議が作成しました。



世界遺産

石見銀山遺跡 とその文化的景観

World Heritage
Iwami Ginzan Silver Mine and its Cultural Landscape



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Iwami Ginzan Silver Mine and
its Cultural Landscape
Inscribed on the World Heritage List in 2007
国際連合教育科学
文化機関(ユネスコ)

石見銀山遺跡とその文化的景観
2007年世界遺産一覧表記載